

そんげん cafe DIGNITY カフェ 報告

毎月オンラインで実施しているACEF Youthの尊厳cafe。
これまでのテーマと実際に話し合ったことをご紹介します

【1月】

①ピクサー映画「トイストーリー3」よりロッツォの過去

ディズニー大大大好きな私のおすすめ「トイストーリー3」に登場するくまのぬいぐるみロッツォは、そのかわいい見た目とは裏腹に保育園のおもちゃたちを支配する悪役。おもちゃたちの尊厳を傷つけるロッツォですが、ロッツォが”悪者”になってしまったのには悲しい過去があり…。

ロッツォの過去が語られるシーンをみんなで視聴し、”リプレイスできる存在だと感じる”や”共感できるからこそ受け入れられない”について語り合いました。



②オズの魔法使い

話題提供してくれたメンバーが小さい頃に読み聞かせをしてもらってとっても印象に残っているという「オズの魔法使い」。オズの魔法使いに元の世界に戻してもらいに行こうとするドロシーと、自分にないものを授けてもらいに行こうとする登場人物たちが旅をする物語です。彼らの願い事を叶えたのは誰なのか…？

自分の夢は自分で叶えるというメッセージを感じたり、一方で、自分の尊厳を実現するのは自分だけでなく、誰かの存在があってこそだということに気づかされたり、弱さを通してひとの・自分の価値を知ることができることを学んだり…とても充実した時間でした。

【2月】

①トロッコ問題～あなたならどうする？～

線路上にいる人々だけでなく、レバーを引く人の尊厳についても考えました。そして、尊厳は、誰かの尊厳を守ったら、他の誰かの尊厳が必ずしも傷つけられるという対立したものではないということを改めて気づかされました。



②善意と尊厳～お年寄りに席を譲る？～

電車でお年寄りに席を譲ろうとしたら断られてしまった経験みなさんありませんか？席を譲るのは「年寄扱い」したいからではないこと、断るのは立ったり座ったりする方がつらいなどの理由があり、善意を否定したいわけではないこと…そういった背景があるかもしれないけれど、話してみなければわからないということから、尊厳においてコミュニケーションがいかに大切か学びました。また、高齢に見られたくないのが弱さを見せたくないのではないかということから、「弱さこそ強さであること」を身近な視点から考えました。

③本能と理性～尊厳は普遍的なの？～

尊厳は文化によって守り方や表す言葉が変わる一方、一人ひとりに価値があるというコアの部分は共通していることを話しました。また、命の大切さは誰も共感するけれど、尊厳は命より大切なのかという新たな問いから、尊厳が誰のものを話し合い、尊厳が自分自身だけのものではなく、相手がいてこそそのものだということを再認識しました。

【3月】

国際協力の現場での経験

テーマは、今回のファシリテータ養成講座で柳原さんがご紹介してくださった国際協力の現場でのご経験。コンサルタントがSさんや村の人たちの尊厳を傷つただけでなく、Sさんがコンサルタントや村人の尊厳を傷つけているということを尊厳の10のリスト、10の誘惑をもとに考えました。尊厳が傷つけられた一方で、対立を避けてインタビューの継続を訴えたSさんの行動は、尊厳を守ろうとしたとも言えます。同じ場面に遭遇したらどうしたらよいか考えました。大声ではなくこそっと伝える、コンサルタントが疲れていることや報告書をいち早く書かなければならないという事情を村人に伝える、コンサルタントにとってプレッシャーのかかる状況を気づかう声がけをするなど、様々な意見が出ました。コンサルタントを信頼していたがゆえに、期待してしまい、裏切られたような気持ちになってしまうこと、その後全体の雰囲気が悪くなったとSさんは感じていたが、村の人たちがどう感じていたかは必ずしもSさんと同じではないのではないかということ、などなど、議論が広がり、とても充実した時間でした。

【4月】

①「車いすの少女」『小学生の道徳6』廣済堂あかつきより

車いすが溝にはまって抜け出せない少女を見て、啓太が手を差し伸べようとしたところ、少女のお母さんに「やめてください」と止めらるというお話です。この教材では、支援の必要があるか問うことの大切さがテーマになっていますが、本文中に少女のセリフはなく、教科書に書かれた問いは啓太やお母さんの気持ちを問うものばかりで少女の気持ちについて考えるものではありません。当事者の視点の重要性についての意見が多くでした。また、「声をかける」というコミュニケーションの大切さや空気を読むという文化についても議論が深まりました。



②「星野君の二るい打」『小学生の道徳6』廣済堂あかつきより

(※「星野君の二るい打」については2024年からは教科書から削除されています) 監督からバントを指示されたにも関わらず、二塁打を打った星野君。チームは勝利し、ヒーローになったかと思いきや、チームのルールを破ったとして星野君は皆の前で監督に叱られたというお話です。集団生活において尊厳を傷つけられることは少なくありませんが、「個」だけでなく「集団」から尊厳を大切にすることもできるのではないかという意見が出ました。また、教材が違えば規則を破ってでも目的を達成することが大切だということを学ばせる教材もあること、スポーツを規則を守ることの大切さの教材として設定されていることについても活発な意見があがり、教科書問題についても学びになりました。

個人的には、小学校教員を目指す者としてただ教科書批判をするだけでなく、こういった教材をどう使って授業をしたら、子どもたちと考えを深めることができるのかとても考えさせられる時間でした。

【5月】

サービ斯拉ーニング生企画

「尊厳フィールドワークin全生園」作戦会議

ICUからのサービ斯拉ーニング生が国立ハンセン病資料館の展示を見学し、明日6月8日に尊厳の視点から参加者同士で感じたことや考えたことなどを共有する「尊厳フィールドワークin全生園」を企画しています。5月の尊厳cafeでは企画当日、どんなことを意識して展示を見るか、どんなことを話し合うかなどを、当日参加される方もそうでない方も一緒に、作戦会議しました！

その中で、なぜ差別してしまうのか、「共感」のもつ意味などについても考えました。みなさんにここでご紹介したいところですが…気になる方はぜひ当日ご参加ください！ご参加できない方に向けて、企画後にInstagramでご紹介します。

最新の尊厳cafeの様子やご案内は
ACEF公式Instagramから↓



acef@ngo